

---

 **第13回 JAたじま杯**  
**第54回 兵庫県U-12サッカー選手権大会**  
**但馬地区予選**

**第73回 全但少年U-10サッカー大会**



第13回 JAたじま杯

第一日目	日時	令和3年6月5日（土）
	場所	但馬ドーム芝グラウンド
第二日目	日時	令和3年6月6日（日）
	場所	但馬ドーム芝グラウンド

第73回 全但少年U-10サッカー大会

第一日目	日時	令和3年6月5日（土）
	場所	兔野高原野外教育センター
第二日目	日時	令和3年6月6日（日）
	場所	但馬ドーム芝グラウンド



**特非) 但馬サッカー協会**

<http://tajima-fa.com/>



---

**がんばろう  ニッポン!**

サッカーファミリーのチカラをひとつに!

## 第13回 J Aたじま杯

### 第54回 兵庫県U-12サッカー選手権大会 但馬地区予選

## 第73回 全但少年U-10サッカー大会

### [ 日 程 ]

#### 第13回 J Aたじま杯

- 第一日目 令和3年6月5日（土） 但馬ドーム芝グラウンド
- 8:45 集合及び準備（各チーム3名以上）  
9:30 代表者・本部担当打合せ  
10:00 開会式  
1) 開会の辞  
2) 優勝杯返還  
3) 協会長あいさつ  
4) 来賓あいさつ  
5) 選手宣誓（朝来サッカークラブ）  
6) 審判委員長諸注意  
10:30 試合開始（片付け：各チーム1名以上）

#### 第73回 全但少年U-10サッカー大会

- 第一日目 令和3年6月5日（土） 兎和野高原野外野外教育センター
- 8:00 集合及び準備（各チーム3名以上）  
9:00 代表者・本部担当打合せ  
9:30 試合開始

#### 第13回 J Aたじま杯

#### 第73回 全但少年U-10サッカー大会

- 第二日目 令和3年6月6日（日） 但馬ドーム芝グラウンド
- 8:45 集合（出場チーム1名以上及び審判部）  
9:45 代表者打合せ  
10:30 試合開始  
15:00 閉会式  
1) 閉会の辞  
2) 成績発表  
表彰  
3) 講 評  
4) 閉会（片付け：出場チーム1名以上及び審判部）

### [ 大会役員 ]

大会会長 曾我 一作  
大会副会長 嶋 克己  
運営委員長 森本 英幸  
運営副委員長 西浦 智  
競技委員長 鳥田 篤史  
審判委員長 河原 秀幸  
運営協力 但馬サッカー協会 第4種所属チーム  
J Aたじま

#### 但馬サッカー協会 第4種委員会

国府少年サッカークラブ  
中筋スポーツ少年団  
香住ジュニアフットボールクラブ  
朝来サッカークラブ  
但馬サッカークラブリベルテ

フェルネーロSC  
但馬南SS  
豊岡ジュニアサッカークラブ  
養父フットボールクラブ  
MSV. AVANSAL

# 第73回 全但少年U-10サッカー大会

1. 主催 特非) 但馬サッカー協会 第4種委員会

2. 協賛 共同写真企画・全但スポーツ

## 3. 大会期日及び会場

第一日目 令和3年6月5日(土) 兎和野高原野外野外教育センター

第二日目 令和3年6月6日(日) 但馬ドーム芝グラウンド

## 4. 参加資格

- 1) 日本サッカー協会第4種に加盟登録した団体及びその団体に所属する選手(3~4年生)で20歳以上の指導者が試合に同行すること。

## 5. 競技規定

- 1) ルール (公財) 日本サッカー協会競技規則(8人制)で、本年1月1日現在で伝達された内容とする。
- 2) ピッチ サイドライン60~80m・ゴールライン40~50mを基本とするが、タッチライン68m・ゴールライン50mが望ましい。ゴールの大きさは、少年用(内径で高215cm 幅500cm)とする。
- 3) 試合人数 8人制とする。
- 4) 試合球 (公財) 日本サッカー協会公認4号ボールとする。
- 5) 登録
  - ① 試合の選手エントリー人数は20名以内とする。
  - ② 大会当日、試合開始20分前までに、メンバー表と選手証の提出を行う。
  - ③ 試合開始時に、選手8名が揃わない時及び選手証の不携帯は棄権とする。
- 6) 試合
  - ① 第一日目は2グループ4チーム, 1グループ3チームによるリーグ戦を行う。  
各リーグ1位3チームと4チームのグループ2位より1チームが決勝トーナメントに選出する。  
2位チームからの選出は勝ち点により決定する。勝ち点と同じ場合はPK方式(3人)で決定する。  
試合時間は前後半15分ずつとし、ハーフタイムのインターバルは5分を超えないものとする。  
リーグ戦方式の順位については、ア)からオ)の順序で決定する。ア) 勝点(勝3点、引分1点、負0点)  
イ) 当該チームの対戦成績(勝3、引分1、負0)、ウ) 得失点差 エ) 総得点 オ) 抽選  
なお、リーグ戦方式において、棄権の場合は0対5の負けとする。
  - ② 第二日目は4チームによるトーナメント方式とする。  
試合時間は前後半20分ずつとし、ハーフタイムのインターバルは10分を超えないものとする。  
なお、同点で勝敗の決しない場合は、PK方式(3人)で決定する。  
PK方式を用いる場合は、試合終了後、競技者が自チームベンチ前まで移動し指示を受けた後、2分後にペナルティキックを開始する。  
但し、優勝戦は前後半5分ずつの延長を行い、なお決しない場合はPK方式(3人)で決定する。
- 7) 選手交代  
自由な交代とし、登録選手の中から補助審判への申告後に、交代ゾーンでまず交代選手が退場した後次に次の選手が入場できる。
- 8) 反則退場
  - ① 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
  - ② 試合中退場処分を受けた選手は、自動的に本大会の次試合の出場を停止する。
  - ③ その他不祥事により協会の名を汚した場合は、県協会規律フェアプレー委員会で処分を決定する。
- 9) ユニフォーム
  - ① 日本サッカー協会ユニフォーム規程に準ずる。  
ただし、アンダーについては、チーム内で統一されていれば着用を許可する。
  - ② 試合当日、2組のユニフォームを用意すること。
  - ③ 靴のポイントは、交換式を認めない。
- 10) 給水  
大会当日の天候状況により、前後半の各中間時に審判の判断と指示で30秒から1分間程度の飲水タイムまたは3分間のCooling Breakを取ることができる。
- 11) ベンチ  
ベンチには、エントリー選手と指導者2名以上3名以内以外は入れない。
- 12) 雨天
  - ① 雨天決行。但し、天災、警報等(開催地での気象など)で開催が危ぶまれる場合は、第4種委員会で協議し決定する。
  - ② 大会中急な天候の変化による落雷等の危険性が高まった時は、直ちにその試合を停止し、平穏になってから再開(リスタート)する。当日に再開できない場合は、第4種委員会で協議検討しチームに通知する。再開方法は、当日行う場合と同様のリスタートとする。
6. 表彰
  - 1) 優勝チームと準優勝チームには、トロフィー・表彰状を、3位・4位には表彰状を授与する。
7. 規律
  - 1) 選手・指導者は、相手選手のみならず自軍選手に対しても紳士的態度で臨むこと。
  - 2) 大会参加選手及び指導者は、競技規定を遵守し、日本サッカー協会サッカー行動規範に則り大会に望むこと。
8. その他
  - 1) 試合、運営等にて協会の品位を汚した者及びチームに対しは、規律部会を開催し懲罰の有無を協議する。  
(保護者の駐停車違反・準備、片付けも含む)  
※ 悪質と判断した場合、但馬協会の規律委員会にて判断を委ねる。
  - 2) 誘導員の指示に従い、指定された駐車場以外、特に路上駐停車を禁止する。
  - 3) チームで発生したゴミは持って帰ること。

- 4) 豊岡市立玄武洞スポーツ公園では管理棟前での駐停車は原則禁止とする。
- 5) 兵庫県立但馬ドームでの物品、選手の乗降については、必ず駐車場内で行う。